

資料提供

| 月 日      | 担当館名    | 電 話          | 担当者              |
|----------|---------|--------------|------------------|
| 2月22日(金) | 県立近代美術館 | 088-668-1088 | 吉川 神津夫<br>吉原 美恵子 |

## アール・ブリュット再考2展 みずのきの色層 の開催について

県立近代美術館では、2月23日(土曜日)より「アール・ブリュット再考2展 みずのきの色層」を開催します。「アール・ブリュット」とは既存の美術や文化潮流とは無縁の文脈によって制作された芸術作品のことを指すものです。しかし、近年の日本では多くの場合、障がい者の美術作品とほぼ同義として用いられています。そのため、「アール・ブリュット」本来の意味が希薄になっているのが現状です。

これに対して、徳島県では昨年「アール・ブリュット再考展」を開催しています。「アール・ブリュット」の現在における意義を再考する契機として、今回は、京都府亀岡市にあるみずのき美術館の所蔵作品を紹介します。

- 1 名称 アール・ブリュット再考2展 みずのきの色層
- 2 会期 平成31年2月23日(土)～3月10日(日)
- 3 会場 徳島県立近代美術館 展示室3
- 4 主催 徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター、徳島県、徳島県立近代美術館
- 5 特別協力 社会福祉法人松花苑みずのき美術館
- 6 開館時間 午前9時30分から午後5時まで
- 7 休館日 月曜日
- 8 観覧料 無料
- 9 内容

みずのき美術館では、障害者支援施設みずのきの創立5年目の1964年から現在に至るまで、同施設のアトリエで制作された膨大な数の絵画作品を保存し、作品データを記録しています。中でも中心になるのは日本画家・西垣籌一(にしがき ちゅういち)の絵画教室で生まれた作品です。西垣による色彩構成の課題を重ねていくことから発展していった個々の色使いは、みずのきの作品の魅力です。今回はこの絵画教室で制作された8名105点の作品を紹介します。

## 10 関連事業

講演会 「みずのき - 55 年のアートの関わり」

講師：奥山理子（みずのき美術館キュレーター）

平成31年3月3日（日） 午後2時～3時30分

徳島県立近代美術館3階講座室／申込不要／入場無料／手話通訳・要約筆記あり

ギャラリートーク

平成31年2月24日（日）、3月9日（土） いずれも午後2時～2時45分

展示会場／申込不要／入場無料／手話通訳・要約筆記あり

## 問い合わせ先

●徳島県立近代美術館 電話：088-668-1088

●徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター 電話：088-631-1200

【広報用画像の提供について】

展覧会の広報用として、次の作品の画像を提供できます。必要な場合はご連絡ください。  
提供方法は、画像データの提供となります。使用にあたっては、「作者名」、「作品名」、「所蔵：みずのき美術館」の3点を明示してください。



作者名：小笹逸男

作品名：私の友達

制作年：1985-89年頃

技法材質：アクリル キャンバス

所蔵：みずのき美術館